

令和2年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	老人福祉センター(7施設)
(2)施設概要	<p>施設の設置目的</p> <p>高齢者に対して各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。</p>
	<p>①和楽荘</p> <p>所在地 さいたま市緑区三室2458</p> <p>開設年月 昭和45年12月</p> <p>構 造 鉄筋コンクリート造 一部2階建</p> <p>主な施設 健康相談室、機能回復訓練室、談話コーナー 軽食コーナー、集会室(読書コーナー含)、娯楽室 大広間、浴室、和室、水屋、茶室</p>
	<p>②寿楽荘</p> <p>所在地 さいたま市桜区下大久保727-1</p> <p>開設年月 昭和54年9月</p> <p>構 造 鉄筋コンクリート造 2階建</p> <p>主な施設 健康相談室、会議室、集会室、大広間 リフレッシュコーナー、浴室、談話室、茶室(図書室) 囲碁将棋コーナー</p>
	<p>③あずま荘</p> <p>所在地 さいたま市大宮区東町2-105</p> <p>開設年月 昭和58年4月</p> <p>構 造 鉄骨造 2階建</p> <p>主な施設 健康相談室、会議室、浴室、娯楽室、集会室</p>
	<p>④東楽園</p> <p>所在地 さいたま市見沼区膝子1151-1</p> <p>開設年月 昭和59年5月</p> <p>構 造 鉄骨造 2階建</p> <p>主な施設 健康相談室、機能回復訓練室、会議室、集会室、 浴室、教養娯楽室、図書室</p>
	<p>⑤しもか荘</p> <p>所在地 さいたま市北区日進町1-800-105</p> <p>開設年月 平成5年7月</p> <p>構 造 鉄筋コンクリート造 2階建</p> <p>主な施設 和室、健康相談室、リラックスルーム、談話コーナー 浴室、茶室</p>
	<p>⑥いこい荘</p> <p>所在地 さいたま市中央区下落合5-11-12</p> <p>開設年月 昭和47年11月</p> <p>構 造 鉄筋コンクリート造 3階建</p> <p>主な施設 健康相談室、機能回復訓練室、談話コーナー 浴室、大広間、洋室、和室、広間</p>
	<p>⑦馬宮荘</p> <p>所在地 さいたま市西区西遊馬533-1</p> <p>開設年月 平成14年5月</p> <p>構 造 鉄筋コンクリート造 3階建</p> <p>主な施設 (馬宮コミュニティセンター)の一部 相談室、リフレッシュコーナー、ホール、教養娯楽室、大広間 浴室</p>

(3) 指定管理者	社会福祉法人さいたま市社会福祉事業団
(4) 指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和2年度 275,458千円</p>
(5) 施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数56,602人(前年度231,612人) <p>※和楽荘は中規模修繕のため令和2年7月1日から令和3年3月31日まで休館</p> <p>※東楽園は空調設備不良のため令和2年8月18日から令和2年8月24日まで休館</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため令和2年4月1日から5月31日と令和2年12月26日から令和3年3月21日まで全館休館</p> <p>◇業務実施状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止により三密を避けるため、計画通りに事業を実施するのは難しい状況となりました。そのため、「高齢福祉課所管市民利用施設に係る利用再開ガイドライン(以下「利用再開ガイドライン」)」を受け、ステップに沿った事業の展開を各施設で検討し、感染対策を十分に行ったうえで実施しました。また休館が長期化する中、在宅支援動画をSNSにアップするなど在宅支援への事業も開始しました。</p> <p>②維持管理業務の状況</p> <p>職員が日々施設・設備の状態を確認し点検記録表に記載をしています。「年間維持管理計画表」を作成し、専門業者による保守点検を計画的に行い、指摘事項があった際には迅速な対応を図りました。</p> <p>利用者、職員への節電・節水の意識を喚起しながら、経費の節減に努めました。</p> <p>③その他の業務</p> <p>令和2年度は各施設ごとに重点取組項目を設定し、その項目が達成できるよう、職員間の連携を図り取り組みました。</p>
(6) 収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入 35千円 (前年度 337千円) ・指定管理料 275,458千円 (前年度 286,115千円) ・その他 123千円 (前年度 592千円) <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 160,978千円 (前年度 160,622千円) ・事務費 7,351千円 (前年度 8,213千円) ・施設管理費 76,623千円 (前年度 95,297千円) ・事業費 3,907千円 (前年度 6,838千円) ・繰入金支出 15,496千円 (前年度 15,242千円) ・その他 1,844千円 (前年度 1,400千円)
(7) 利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<p>法人として要綱にて明文化された ①「苦情解決制度」 ②投書箱の設置「みなさまの声」 ③サービス向上担当者会議による「利用者アンケート」(無記名)を行い、利用者からの様々な意見や要望をいただいています。いただいた意見や要望の対応については、回答とともに施設内に掲示またはいつでも閲覧できるように冊子にするなど周知しています。④日々の窓口業務等で利用者からの意見・要望を受け付ける機会を継続しています。利用者からの要望で対応可能なものについては速やかに改善を図りました。</p>

(8) その他

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館となり、長期間、浴場業務が中止となったため、レジオネラ属菌対策として、毎週1回の高濃度塩素消毒を継続した他、「利用再開ガイドライン」を受け、浴槽、循環ろ過装置及び配管等の設備の清掃、消毒を2回実施をしました。

「利用再開ガイドライン」を受け、緊急事態宣言解除後の入浴再開に向けて、専門業者による浴槽、循環ろ過装置及び配管等の設備の清掃、消毒及び、水質検査を2回実施しました。

施設利用については「利用再開ガイドライン」に基づき、以下の通り、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じました。

- ・飛沫防止対策、三密回避の徹底。
- ・職員の出勤前の健康チェックの実施。
- ・手指消毒、マスクの着用。
- ・換気・設備・備品の消毒(随時・定時)を実施。
- ・入館者へ「入館利用者記録票」の記入依頼と提出。
- ・掲示等による情報提供。
- ・新型コロナウイルス感染者(疑いを含む)が判明した場合、事業団フローチャートに基づく速やかな報告体制の整備。
- ・感染症対策に関する研修の実施。
- ・浴場の利用については入浴時間・利用人数等の制限。

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
法人内施設との協働事業	<p>【児童センターとの協働事業】・【放課後児童クラブとの協働事業】</p> <p>利用者が講師として教える囲碁・将棋教室を始めゲーム大会等を通しての世代間交流については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となっています。</p> <p>【職員の相互派遣】</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、老人福祉センターが休館となった期間に、老人福祉センターの職員を当法人内の障害者施設・放課後児童クラブ等への派遣を行い、見識を深め、視野を広げる機会となりました。</p> <p>【実践事例発表会】</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となっています。</p>
利便性向上	<p>【利用者登録制度】</p> <p>登録を済ませるとさいたま市のシルバーカードに記載された番号を提示することで当法人が運営する全ての老人福祉センターで受付がスムーズに行えるようになること、緊急時の対応が円滑に行えるようになる事を説明し、希望の方に登録手続きを行っています。(登録情報は個人情報保護法に則して、適正な取り扱いを行います。)</p> <p>【長期休館の施設間送迎】</p> <p>和楽荘が中規模修繕により7月から3月まで休館となり、休館期間中においては、和楽荘から槻寿苑への送迎を行い、サービスの低下が軽減するよう図りました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため老人福祉センターが一斉休館となった際や、施設の利用再開の際に、利用者に対して館内での周知を行うとともに、無料送迎バスの運行を行っている2施設においては、バスを利用している方々への周知のため、休館後1週間、利用再開時については、開館日の前後併せて2週間職員がバスに添乗し、停留所でバスを待たれていた利用者の方々に対して、休館及び開館の周知を行いました。</p> <p>【施設間での事業案内】</p> <p>合同事業「アウトリーチ寄席・コンサート」について、アウトリーチ寄席については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。また、アウトリーチコンサートについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、しもか荘で実施しました。開催にあたり各施設にポスターを掲示し、告知に努めました。</p>
地域自治体や団体との 共同事業	<p>【近隣保育園、学校、施設等との共催事業】</p> <p>近隣小学校の町探検事業の社会資源の一施設として場の提供をしています。</p> <p>予定をしていた保育園や学校との交流事業についてはコロナウイルス感染症拡大防止のため中止としています。</p> <p>【地域連携、および団体連携】</p> <p>地域の清掃活動については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となっています。地域包括支援センター等との会議等も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参集での会議ではなく、書面による会議等に参加をしました。</p>

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

さいたま市から指定管理者の指定を受け、老人福祉センターの管理運営を担うさいたま市社会福祉事業団は、平成30年3月に制定したコンプライアンス規定に基づき、経営や事業に関わる重要課題と認識し、法人全体で遵守するための方針としています。危機管理委員会、コンプライアンス委員会が中心とした教育研修プログラムを構築し、法人全体遵守徹底に努めています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館となったため、当法人スケールメリットを生かし、障害児・者、児童センター、放課後児童クラブ等へ職員を派遣し異種業務への理解を深めています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため参集での研修が難しく、リモートでの研修をはじめ、インターネットの動画配信を利用した研修を取り入れ、多くの職員が同じ動画配信での研修を受け、資質の向上を図りました。

老人福祉センター施設長会議及び実務担当者会議をリモートで行い、施設としての「利用再開ガイドライン」の熟知と職員間の意識の統一を図りました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた事業が相次いで中止となる状況のなか、対策を講じながら七夕やゆず湯等の季節に沿った事業を行うことで利用者に季節を感じていただく機会を設けました。日々においては設備・備品の適宜消毒をして、利用者が安心して使えるように努めました。

経費削減の観点では水道光熱費の節約はもとより、保守管理等の業務委託については法人内の複数の施設と仕様の統一を図り、入札等契約事務を取りまとめることで契約事務の効率化やコストの削減に結びつくようにしました。

修繕については計画的な修繕が行えるよう修繕計画を立てて順次修繕をおこなっていますが、施設の老朽化に伴い経年劣化による緊急修繕が増加しています。利用者に安心と安全なサービスを提供するため、適宜修繕をおこないました。

(2)さいたま市の評価(評価担当課:保健福祉局長寿応援部高齢福祉課)

総合評価(B)※A～D

【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進等に関する取組】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、老人福祉センター所長会議を臨時開催し、高齢福祉課策定の「高齢福祉課所管施設市民利用施設に係る利用再開ガイドライン(以下、「ガイドライン」とする。)」の改定時には所長や実務担当者による会議を開催しガイドラインに即した施設運営を行ってきたことを評価した。

【経費の削減に関する取組】

予算額と決算額との乖離が僅かであり、概ね適切であると評価した。

【適正な管理運営の確保に対する取組】

各施設で新型コロナウイルス感染予防対策に向けた意識の統一を図れるよう、施設長会議ガイドラインに即した設備・器具等の消毒を実施したことを評価した。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き適切な管理運営に努めて下さい。